

**厚生労働省科学研究費補助金**  
**「難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）：**  
**重症多形滲出性紅斑に関する調査研究（H22 難治 一般 003）」**

平成 25 年度 第 1 回班会議プログラム

研究代表者：杏林大学医学部皮膚科 塩原哲夫

日時：平成 25 年 8 月 3 日（土）9：30 から 17：00 まで

場所：朝日生命大手町ビル フクラシア東京ステーション 会議室 6 階 6A

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 5F, 6F

Tel：03-3510-3051

JR [東京] 駅・地下鉄 [大手町] 駅 地下直結

（ホテルメトロポリタン丸の内向側）

JR [東京] 駅・日本橋口徒歩 1 分

JR 地下鉄 [大手町] 駅 B6 出口直結

---

**Annual JSCAR Meeting**

9:30

開会の挨拶 研究代表者 塩原哲夫

9:35

ご挨拶

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官研究事業推進官(厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業、難治性疾患克服研究事業）)

武村真治 様

9:50

・難治性疾患の集積：重症薬疹登録データベース作成

Data base for severe cutaneous adverse reactions

杏林大 平原和久先生

11:20

・国民への成果の普及・情報発信のために：

- 1) 薬疹治療拠点病院情報 薬疹治療拠点マップ作成準備  
Institutions of treatment for severe cutaneous adverse reactions
- 2) 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医への重症薬疹治療法の普及について  
Prevalence plans concerning treatment for SCAR  
杏林大 狩野葉子

11:30

・研究成果のグローバル化：

Introduction for international SCAR meeting in Taiwan and RegiSCAR meeting  
Dr. Wen-Hung Chung

12:10 昼食 Lunch (お弁当)

13:10-13:15

\*事務局連絡、次回班会議日程 (Official announcement for the next meeting)

13:15

・Hot Topic：健康被害情報-皮膚-

ロドデノール含有化粧品による皮膚トラブルの状況報告

Hot Topic: Vitiligo induced by cosmetic products

岡山大 青山裕美先生

13:30

・A case of TEN induced by aspirin

大阪大 小豆澤宏明先生

13:45

・Stamp 標本による SJS/TEN 迅速診断の試み

Rapid diagnostic test for SJS/TEN using stamp preparation

愛媛大 藤山幹子先生、橋本公二先生

14:05

・グラニューライシン値測定による肝炎による3剤併用療法における重症薬疹の予見

Prediction of SCAR utilizing granulysin levels

市立島田市民病院皮膚科 橋爪秀夫先生、馬屋原孝恒先生

14:25

- ・重症薬疹における血清中ケモカインの動態

Serum chemokines in severe drug eruptions

奈良医大 浅田秀夫先生、長谷川文子先生、小川浩平先生、宮川史先生

14:45

- ・ Strategies for ocular complications at acute stage in SJS/TEN

京都府立大 外園千恵先生

15:05-15:20 <Coffee Break>

15:20

- ・ Liver injury in drug induced hypersensitivity syndrome: a review of 72 cases in Taiwan

National Taiwan University Hospital Dr. I-Chun Lin, Dr. Che-Wen Yang,  
Dr. Cha-Yu Chu

15:40

- ・ HLA-B62 が陽性であったメキシレチンによる DIHS

HLA-B62 positive DIHS induced by mexiletine

愛媛大 藤山幹子先生、小田富美子先生、橋本公二先生

15:55

- ・ GVHD と同様の病態を考えた DIHS

DIHS presenting GVHD-like symptoms

杏林大 堀江千穂先生

16:10

17:00 終了予定 Close

< 進行により、時間の変更がございますのでご容赦願います。 >



**厚生労働省科学研究費補助金**  
**「難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）：**  
**重症多形滲出性紅斑に関する調査研究（H22 難治 一般 003）」**

平成 25 年度 第 2 回班会議プログラム

研究代表者：杏林大学医学部皮膚科 塩原哲夫

日時：平成 25 年 12 月 21 日（土）9：30 から 17：00 まで

場所：東京駅前：マルビルコンファレンススクエア ルーム 5

住所：〒100-6307 東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビル 8 階

TEL 03-3217-7111（平日 10：00～19：00） FAX 03-3217-7501

JR ご利用の場合 / 東京駅丸の内南口より徒歩 1 分

地下鉄をご利用の場合 / 丸ノ内線東京駅より直結

千代田線二重橋前駅 7 番出口より徒歩 2 分

---

**Asian SCAR Meeting**

9:30

開会の挨拶 研究代表者 塩原哲夫 先生

9:40

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部

上席主任研究官 武村真治 様 ご挨拶

9:55

1. 薬剤性過敏症症候群(DIHS)の全国疫学調査

Results from nationwide survey of DIHS

順天堂大 黒沢美智子 先生、 福島若葉 先生、 廣田良夫 先生、 他

10:20

2. 長期フォローアップ中の DIHS 患者における DLST の検討

DLST (LTT) levels in long followed-up patients with DIHS  
慶應大 足立剛也 先生、高橋勇人 先生、永尾圭介 先生

10:45

3. サイトカインによる表皮障害の検討

Analysis for association between epidermal involvement and cytokines  
愛媛大 藤山幹子 先生、橋本公二 先生

11:10

4. 重症薬疹におけるペリプラキンの発現(仮題)

Production of autoantibodies against epidermal proteins in severe drug eruption  
岡山大 青山裕美 先生

11:35

5. What do we learn from 2013 ISCAR? Highlights and Perspectives

Chang Gung Univ. Dr. Chung Wen-Hung

12:05-12:55

昼食 (お弁当)

12:55-13:00

事務局連絡 (Official announcement of the next meeting)

次回班会議日程: Next Asian-SCAR Meeting: 2014. 7.26 (Sat)

13:00

6. EGFR 阻害薬による薬疹の発症機序

Pathogenesis of cutaneous adverse reactions induced by EGFR inhibitors  
奈良医大 浅田秀夫 先生、朴紀央 先生、御守里絵 先生

13:25

7. 全例調査からわかったテラプレビル 3 剤併用療法における皮膚障害の特徴

Data from a survey: Characteristics of cutaneous manifestation due to  
combination therapy with pegylated interferon, ribavirin and telaprevir  
昭和大 末木博彦 先生

13:50

8. Stevens-Johnson 症候群眼後遺症患者の発症背景と初期診断

Ocular sequelae in patients with SJS: background onset and initial diagnosis

京都府立医大 外園千恵 先生

14:10

9. 感冒薬による SJS/TEN 発症の遺伝子素因について

Genetic factors for the development of SJS/TEN due to cold medicine

京都府立医大 上田真由美 先生

14:30

10. 重症な消化管病変を伴った TEN の一例

A case of toxic epidermal necrolysis with extensive intestinal involvement

北大 西村慶子 先生、阿部理一郎 先生

14:50

11. 粘膜症状なく全身状態がきわめて良好であったが、皮膚症状が急速に重篤化し TEN に至った 1 例

A case of toxic epidermal necrolysis without mucosal lesions developing acute progressive generalized severe skin rash

横浜市大(医療センター) 中村和子先生、松倉節子先生、相原道子先生

15:10-15:25

Coffee Break

15:25

12. セツキシマブ (アービタックス®) によるアナフィラキシー

Cetuximab (Erbix®) anaphylaxis

島根大 千貫祐子 先生、森田栄伸 先生

15:45

13. 線溶系の異常を伴った L-カルボシステインによる AGEP の 2 例

Two cases of AGEP induced by L-carbocysteine: association to abnormal fibrinolytic system

市立島田市民 橋爪秀夫 先生 馬屋原孝恒 先生

16:05

14. その他の研究報告、症例検討など

16:30

終了予定



厚生労働省科学研究費補助金  
「難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）：  
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究（H22 難治 一般 003）」

## 重症薬疹の診断と治療

### 「拠点病院のための講習会」

日時：平成25年9月22日（日）15:00から17:00まで

場所：大宮ソニックシティビル 7階 708

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

15:00

開会の挨拶

研究代表者 塩原 哲夫 先生

15:05

「眼科治療で難渋した症例」

京都府立医大眼科 外園 千恵 先生

15:20

「重症薬疹の診断と治療」

杏林大皮膚科 平原 和久 先生

16:30

終了

# 重症薬疹の診断と治療 拠点病院のための講習会

9月22日(日)15時～17時

大宮ソニックンテビル 7階 708

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区  
桜木町1-7-5

主催：厚生労働省科学研究費補助金  
難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)  
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究班  
主任研究者 塩原 哲夫



厚生労働省科学研究費補助金  
「難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）：  
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究（H22 難治 一般 003）」

## 重症薬疹の診断と治療

### 「拠点病院のための講習会」

日時：平成25年12月1日（日）15:00から17:00まで

場所：ホテル日航金沢 5階 会議室 松の間

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1

TEL 076-234-1111（代表） / FAX 076-234-8802

15:00

開会の挨拶 研究代表者 塩原 哲夫 先生

15:05

1. B cell depletion therapy 後に発症し、症状が長く遷延した TEN の 1 例

横浜市大 白田 阿美子 先生

2. 当教室で診断・治療に苦慮した症例

杏林大 平原 和久 先生

3. （ 分担研究者施設から ）

16:30

終了

# 重症薬疹の診断と治療 拠点病院のための講習会

12月1日(日) 15時～17時

ホテル日航金沢 5階 会議室  
松の間

〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1  
TEL 076-234-1111

主催：厚生労働省科学研究費補助金  
難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)  
重症多形渗出性紅斑に関する調査研究班  
主任研究者 塩原 哲夫



ちょっと役立つ

# 薬疹の知識



杏林大学医学部教授

## 塩原 哲夫

(専門: 皮膚科学、免疫アレルギー学)



平成 25 年

# 11月12日 火

※ 11月12日は「いいヒブ」の日です

時間 18:30 - 20:00

会場 杏林大学三鷹キャンパス・大学院講堂  
(杏林大学病院第2病棟4階)

【定員 243名】

※入場無料・申込不要、直接会場へ

お薬服用後に皮膚に赤や紫の斑点や痒みなどが出現してくるとすぐにお薬との関連(薬疹)を考えてしまうのではないのでしょうか。

しかし、すべてのお薬がすぐに薬疹を引き起こすわけではなく、薬疹にはお薬の種類・内服期間などにより、いくつかの症状の特徴があります。本講演ではお薬服用後に出てくる茶色の斑点の「しみ」のような薬疹から、「はしか」を思わせる薬疹まで多彩な症状を示しながら、知っておくとちょっと役立つ情報をお伝え致します。



杏林大学広報・企画調査室

tel 0422-44-0611 e-mail koho@ks.kyorin-u.ac.jp





# 重症多形滲出性紅斑ホームページ

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)

## 重症多形滲出性紅斑に関する調査研究

重症薬疹を含む  
多形紅斑を主症状とする  
疾患の研究を行っています



[トップページ](#) [薬疹について](#) [重症薬疹の解説](#) [診断基準](#) [リンク](#) [調査研究機関](#)

### はじめに

- 「重症多形滲出性紅斑に関する調査研究」のホームページをご覧になって頂きまして、誠にありがとうございます。  
本研究では多形紅斑を出現する様々な病気や多形紅斑を主症状とする重症の薬疹を対象として、その機序を解明し、治療法を確立することを使命としております。このホームページを用いて、患者さんや医療従事者へ正しい医療情報を提供したいと考えております。

本調査研究を推進させて、患者さんの治療に取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

杏林大学医学部皮膚科学教室  
研究代表者 塩原哲夫



研究代表者  
塩原哲夫

〒181-8611  
東京都三鷹市新川6-20-2  
杏林大学医学部皮膚科学教室

### お知らせ

#### 1. 重症薬疹における長期予後調査について

重症薬疹を含む重症多形滲出性紅斑の回復後にどのような続発性・後遺症が起こるかについては、未だ検証がなされていません。このため、現在、重症薬疹にて調査研究機関の施設に入院された患者さんに対して、予後調査を行わせて頂いております。調査方法は各調査研究機関の施設から郵送にて調査票を送付させて頂き、返信して頂くものです。

この調査において、調査票に記載するかどうかは患者さんご本人の意志により決めて頂きます。決して強制するものではありません。返信されなかった場合でも不利益を受けることはありません。

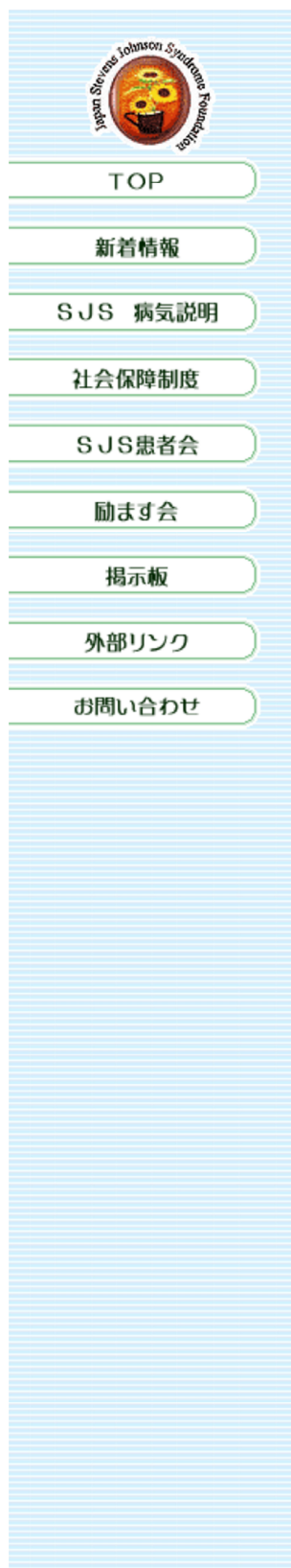
#### 2. 薬剤性過敏症候群の臨床疫学調査について

[RETURN TO TOP](#)

[杏林大学医学部皮膚科](#)

copyright©2012 all rights reserved.

## SJS 患者会ホームページとの連携



# SJS患者会

## 更新履歴

2013/01/07  
・活動記録追加  
2012/10/23  
・救済制度の新聞広告（10月17～19日）  
・副作用と救済制度の一般向けシンポジウムの開催の  
お知らせを掲載しました。  
2012/08/24  
・京都新聞の記事を掲載しました  
2012/08/16  
・リンク先追加  
2012/08/02  
・懇親会のお知らせを掲載しました  
2012/07/24  
・リンク先追加しました  
2012/07/18  
・前回は誤り掲載されました

## ブログ開設しました

<http://sjsten.exblog.jp/>

当患者会活動記録に記載してない

発言や著作物はSJS患者会とは一切関係ありません

## 患者会より

病気を治すため、症状を緩和するために飲んだ薬。それらの副作用によって、より重篤な症状になることがあります。それら薬疹の一つ、スティーブンス・ジョンソン症候群に私たちはかかりました。

私たちは、自分たちと同じように辛い体験をする人が、少しでもいなくなるように、また後遺症などの治療が安心して受けられるような体制が早く確立されるように、活動を続けています。

サイトはSJS患者会の著作物です。無断転載や再配布などの2次使用は一切お断りいたします。





## **重症薬疹について調査研究、治療を行っている医療機関（順不同）**

### **<皮膚科>**

- ◆ 杏林大学医学部皮膚科学教室
- ◆ 愛媛大学大学院医学研究科感覚皮膚医学
- ◆ 昭和大学医学部皮膚科学教室
- ◆ 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教室
- ◆ 島根大学医学部皮膚科学教室
- ◆ 奈良県立医科大学医学部皮膚科学教室
- ◆ 京都大学大学院医学研究科皮膚科学教室
- ◆ 市立島田市民病院皮膚科
- ◆ 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室
- ◆ 北海道大学大学院医学研究科感覚器病学講座皮膚科学分野

### **<眼科>**

- ◆ 京都府立医科大学大学院医学研究科視覚機能再生外科学教室

